

# 平成31年度当初予算 予算要求シート

事業区分： 重点      マスタープラン： 3つの挑戦 / 子育て      施策番号： 3-2 . 1-3 .      局・課名： 子ども青少年局 子ども家庭課

事業名	発達障害者(児)支援事業	事業費(千円)	平成29年度決算額	平成30年度予算額	平成31年度要求額	
			31,538	32,259	32,842	
事業概要	【目的】	発達相談等の実施により早期発見・早期支援を推進し、就学移行支援を行うことにより、学校での二次的な不適応を予防し、児童の健全育成をより一層推進する。また、不安を持ち、孤立しがちな養育者に対する子育て支援を行い、虐待予防を図る。	期間		要求額(千円)	
	【内容】		H ~ H			
	発達支援コーディネーターが発達障害児とその家族を支援するとともに、地域の機関からの相談を受け支援体制のサポート強化を行う。「あい・ふあいる」の活用を推進し、関係機関の連携を強化する。 ○4・5歳児発達相談、養育者勉強会(短縮版ペアレントトレーニング)、啓発(ホームページでの情報提供)、個別支援ファイル「あい・ふあいる」活用セミナー(支援機関対象) ○キッズサポートセンターさかいにおける発達相談、乳幼児健診、こども園等で超早期に発見される発達障害児に対して、超早期療育を行うとともに、そのノウハウを支援に活かすことができるよう児童発達支援事業所やこども園に配置されている「あい・さかい・サポーターリーダー」の実習・研修の場とする。		(単位:千円)			
	【今年度要求のポイント】	4・5歳児発達相談、超早期療育支援等の就学移行支援を実施し、関係機関の連携をさらに強めるに必要な費用を要求する。				
	主要要求内容			(単位:千円)		
	項目		30年度予算	31年度要求額	内容・積算等	
	報酬		14,239	14,868	発達支援コーディネーター(心理士4名)	
	謝礼金		2,254	2,243	発達相談医師2,232千円、「あい・ふあいる」セミナー22千円	
	旅費等		930	926	非常勤通勤費、旅費等	
	発達障害児(者)支援事業委託料等		14,495	14,495	発達相談・養育者勉強会・超早期療育・啓発等	
需用費等		112	102	消耗品費等		
役務費等		152	142	通信運搬費等		
会場等借上料		19	18			
研修会当参加負担金		58	48			
合計		32,259	32,842			
スケジュール(経過及び今後展開)						
【経過(～30年度)】		【31年度】		【今後予定(32年度～)】		
H18～21「発達障害児支援研究事業」委託 H22から発達相談・養育者勉強会を全市拡大し実施 H30 超早期療育支援を実施		継続実施		継続実施		
その他 特記事項						
みんなの審査会対象外 関連事業：						